

現場社員のための 組織行動力向上

コース番号：058-026

2024年

開催日時：**10月22日(火)**
9:30~16:30 (6時間)募集締切：**10月8日(火)**開催場所：ポリテクセンター山梨
定員：**16名程度** (先着順)
推奨者：初任層~中堅層受講料
3,300円 (税込)

コースの狙い

企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、一般社員のうちから経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のためのビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見・業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得します。

主な訓練内容

◎ 企業組織と生産活動

(1) 企業を取り巻く問題と生産性向上

人手不足・物価高騰・働き方改革対応など、企業をとりまく問題と、生産性向上による解決の流れを学ぶ。

(2) 従業員への期待と現実

従業員が期待されることと自身の考えとの間には大きなギャップが生じやすいことからこれをどのように考えて生産性向上につなげていくかを考える。

◎ 状況変化に対応する現場力

(1) 主体性の発揮

主体的に社内の問題発見、業務改善を行っていくためには主体性の発揮が求められるが、それは指示をされても出すのは難しいことから、コーチング要素やワーク・事例を通して、自身がどのように考えて主体性を成長させていけるのかを学ぶ。

(2) 業務の可視化・数値化

業務改善を行っていても、人には「盲点」があり問題をとらえきれていないことがかなり多いことから、「盲点」の中の問題を見つける方法として、業務の可視化・数値化について、事例を基に学ぶ。

(3) 問題構造図による真の原因の抽出 【演習あり】

グループワークを通して問題の抽出~具体策計画までを体験し習得する。

問題の対策が短絡的であると効果がでなかったり再発したりとなるため、論理的・多面的に捉える方法を学び、その中で聞くこと、話すこと、共感、気付きなども体感する。

◎ フォロワーシップと組織行動力

(1) 自立的なフォロワーシップとは

ただ言うことを聞くだけのやらされ仕事をするとモチベーションが下がる一方で成果も上げにくいことから、自身のやりがいを持ち組織に貢献するフォロワーシップについて学ぶ。

(2) 組織行動力を向上するポイント

組織として業務改善を行う際に気を付けるポイント・考え方を失敗事例・成功事例などから学ぶ。

○ 訓練内容のココがポイント！

- ・初任層~中堅層に向けてできるだけ平易な内容や言葉で分かりやすく伝えます。
- ・手法を伝えても主体性がなければ取り組まないため、主体性の成長に重点をおいた訓練を行います。
- ・組織の中での役割、チームワークについても考える時間を設け、組織内での協調性を高めるような内容を取り入れます。

実施機関&講師

株式会社 タナカサトル技術支援
代表取締役 **田中 覚氏**

講師Profile

大手メーカーにおいてもものづくり全般（新製品開発、業務改善、独立採算制、コストダウン）などに従事。技術士（機械部門）取得。主体性の向上と業務の可視化・問題解決手法を用いた支援で作業削減などの成果を挙げている。

お申し込みは